

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月1

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法 陵風会
事業所名	グループホーム 西谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5604番地 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	平成28年7月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

共同生活に於いて、明るい家庭的な雰囲気の中で日常生活のお世話及び生活リハビリを行なうことにより、利用者がその有する応力に応じた生活ができるよう明るい笑顔の絶えない雰囲気づくりを念頭において運営を行っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は協力医療機関からの2週間に1回の受診、健康診断、健康相談など医療連携ができています。疾病の予防や早期発見に努め、利用者が安心して生活できるよう支援している。
- ・重度化や終末期に向けて本人や家族・医療機関・職員が共に話し合い、支援する体制ができています。
- ・利用者はホールや居室で自由に過ごしている。面会者や訪問の方と気軽に話し合い、家庭的な雰囲気を感じることができる。
- ・利用者の食事への意向や希望を聞き、鶏飯や七草がゆなどの郷土料理や行事食のほか、おはぎや梅干し・ヨーグルトを手作りしている。適温での配膳や薄味を心がけ、利用者の健康や楽しみを支援している。
- ・年2回、昼・夜間を想定した避難誘導、消火訓練を消防署の指導のもと防火管理者を中心に実施している。避難場所への安全でスムーズな移動、避難経路確認などを実施している。自主訓練も行っている。
- ・職員は明るく笑顔が絶えず、管理者となんでも話し合い、相談できる関係を築いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼後に理念を唱和している。職員間で理念をもとに具体的なケアについて話し合い、意見の統一を図り介護サービスの基本として実践している。	事業所独自の理念を、ホールや玄関・事務所に掲示し、朝礼で唱和している。職員会議で振り返りや見直しを検討し、共有を図り実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している。散歩に出かけた際は挨拶を交わしたり、日頃から関係作りを心がけている。	町内会に加入し、近隣の方と気軽に話をしたり挨拶をしている。行事に協賛広告を出したり夏祭りなどの地域行事に参加している。中・高校生の職場体験学習や看護学生の実習受け入れを行い、地域と継続的な交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の職場体験学習や高校生の実習等積極的に受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月ごとに開催し、現状報告・活動内容・理事会等報告・情報交換等を行ない、サービスの向上に努めている。</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業所の現況や行事報告・活動報告・利用者状況・外部評価の結果等を報告し話し合っている。出された要望や意見は積極的に実行に移し、サービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村とは常に連携を図り、事業所の実情やケアサービスを伝え協力関係を保っている。</p>	<p>市担当者を訪ね、報告や相談・利用者の暮らしぶり・ケアの様子を伝えている。メールや電話での連絡も受け協力関係を築いている。市主催の研修会に出席したり、介護相談員を受け入れる等、ケアサービスに取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員会議などで勉強会を開き身体拘束の意義について理解を深めている。</p>	<p>マニュアルを基に職員会議や勉強会を行い、拘束をしないケアに全職員が取り組んでいる。言葉づかいも含め、見守りの重要性を理解し、一緒に行動を共にするなど利用者の自由な暮らしを支えている。玄関の施錠はせず、職員は見守りの方法を徹底している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>認知症高齢者の身体的・精神的な理解を深めるための勉強会を設けている。職員間で虐待が行われていないか注意している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>定期的に学ぶ機会を設け活用できるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居に関しては、特に利用者や家族の気持ちを十分に察し、丁寧に説明することで入居に関して納得・理解をしていただくことで安心して契約を行ない、また、会や機についても十分な説明と話し合いの期間を設けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>第三者員等に相談できるように説明し、玄関受付に意見箱も設置している。また、グループ全体でも年に1回、家族にアンケート調査を行なっている。</p>	<p>利用者とは日常の関わりの中で思いや要望を聞くようにしている。家族とは面会時や担当者会議・家族会等で積極的に家族へ声かけを行い、気軽に意見や要望を出してもらえそうな関係づくりをしている。出された意見や要望は職員会議等で話し合い、運営に活かせるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議・カンファレンス等を定期的に行ない、職員からの意見や提案を聞く機会を多く持っている。日頃から職員とのコミュニケーションを図るように努めている。</p>	<p>管理者は申し送り時や職員会議・勉強会を通し職員の意見や要望を聞き、話し合っている。利用者の身体機能低下に対する予防策や歩行が安全にできるような提案を取り入れ、実践している。管理者はコミュニケーションを図ったり、年2回ほど職員と外食の機会を作っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人の努力や実績・勤務状況を把握しつつ職員がやりがいを持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等に参加し、サービス及び知識の向上に取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会・勉強会を通じ、情報の交換等を等を行ない、サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人をはじめ、ご家族・関係事業から生活歴や傷病、自宅での過ごし方など詳細に情報を集め、利用者本位のサービスを提供し、安心して暮らせるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安や困っていることにも耳を傾けることで、精神的な支援を行ない、相互理解したうえでケアを行ない、信頼関係を築くように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体・精神状況を的確にはあs 櫛、必要な支援が考えられる場合は他の事業所やサービスを紹介したり相談に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊敬の気持ちを持ち、利用者様の立場を考え知恵や昔の習慣等わからないことは尋ねるようにし、ともに生活することにより、共感し合える関係を築くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの出来事や気づきの情報共有に努め、本人と一緒に支えるために家族と同じ思いで支援していることを伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	級友や友人が来られた時は、ゆっくり話ができるように配慮している。	家族や知人・友人等の面会時に休養室や居室でゆっくりくつろいでもらい、関係が途切れないような対応を心がけている。電話の取次ぎも行っている。コンビニや商店が近く、買い物時に馴染みの人との出会いがある。家族にも協力を得て、買い物や墓参り・ドライブで人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、状況に応じて利用者様の間に入り、誘導したり良い雰囲気を保てるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も必要に応じて本人の面会へ行ったり、家族等に状況を聞くなどして、相談や支援に心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、利用者の言動や表情を観察し、声かけなどコミュニケーションに努め、思いの把握に努めている。	日常の仕草や会話などから、こまめな職員の気付きで、本人の意向を推し測っている。家族や関係者から情報を集め早期の対応ができる様に努めている。困難な場合は表情やしぐさから汲み取り、思いや意向の把握に努め、家族からも情報を得るようにして、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシートや情報提供書等で生活主幹等について情報を得るとともに、本人からの話や家族の面会時に個性や価値観等を聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の日常生活動作や創作活動など、日々の活動の様子を見守りながら現状把握に努めている、また、できる事に注目し、その方全体の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族・主治医等からも意見やアドバイスを頂き意義や質要請について定期的にカンファレンスを行なうことで、介護計画の見直しや改善を行ない、本人の思う暮らしへ地被くことが出来るよう取り組んでいる。</p>	<p>介護計画は、本人や家族の意向に沿った計画を作成している。定期的な見直しのほか健康状態の変化や受診結果により医師や看護師・利用者・家族と相談しながら介護計画を作成している。カンファレンスは毎月実施し、モニタリングは3ヶ月に1回、急変時は現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>会議や毎朝行なう申し送りなどで情報共有を図り、必要に応じて話し合いを行ない改善に向けて取り組んでいる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>病院受診など職員も同行したり、時には家族も一緒に行くなどして状況に応じて柔軟な支援を行なっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>訪問美容サービス等活用している。包括支援センター・民生委員など協力を得ながら支援を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医と連絡を密にし、状態の変化など対応している。また、本人や家族の要望などある時は、家族の協力のもと希望する医療機関の受診のお願いをしている。また適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診時は事業所から情報提供書を作成し家族が同行支援している。職員が同行する場合もある。医療連携体制が整備され適切な医療を受けている。協力医療機関の健康診断や通院支援・週1回看護師来訪・主治医との健康相談の機会もある。歯科の往診もある。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の変化や情報を主治医や看護師に相談し、受診や訪問看護が適切に受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院による状態の悪化を極力防ぐため、面会に行ったり家族・病院と支援方法に関する情報交換を行ない、早期に退院できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期になり医療行為が必要になった場合は、家族・職員・関係機関と話し合い、対応方針の共有を図っている。また、事業所が対応しうる最大のケアについての説明も行っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に向けた説明を行い同意を得ている。重度化や終末期には状態の変化がある毎に、本人や家族の意向を踏まえ、利用者の状態に応じ医師・看護師・職員を含め、事業所でできることを話し合い支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時に備えて応急手当等研修を受講している。また、マニュアルを整理し迅速に対応できるようにしている。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練を行っており、マニュアルも作成している。</p>	<p>年2回、昼・夜間を想定した避難誘導、消火訓練を消防署の指導のもと防火管理者を中心に実施している。避難場所への安全でスムーズな移動、避難経路確認などを実施している。自主訓練も行っている。利用者は車いすが多いので、安全に避難する方法や地域の協力を得ること等を運営推進会議で話し合いをしている。災害時の水や米・パン・レトルト食品等の備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いや声かけに際して利用者の尊厳重視に努めている。また、職員の意識向上や具体的な対応方法については、職員介護等において勉強会を行なっている。	トイレ誘導や入浴介助・更衣等の声かけ誘導や言葉かけは誇りやプライバシーを損ねないように年長者としての敬意を払い、支援している。利用者の居室のドアの開閉も一人ひとりの希望を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	なじみの関係を築きながら利用者が胸の内を話せるように働きかけ、できる限り納得して暮らせるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状況に合わせ、一人一人のペースを大切に希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の生活習慣に合わせた支援を行ない、衣類等は自分で選んで頂くなど故瀨尾を尊重している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の負担にならない範囲でお盆拭きや台拭きなど職員と協力して行っている、食事の時は会話をしながら楽しい雰囲気作りを心がけている。</p>	<p>利用者の状態に応じた食事形態を提供している。手作りおせちや七草がゆなどの行事食や誕生日会・おやつバイキング・自家製ヨーグルト・梅干し等を取り入れ、ホームの味を作り、食事に変化や楽しみを持たせている。外食にも出かけている。利用者も個々の力量に応じて食事の手伝いでキッチンに立ち下ごしらえや後片付けを一緒にしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>塩分の摂りすぎや献立の偏りなどないように注意している。また、一人ひとりの状態において、飲みものを変え補水を勧めるなど工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声かけ・誘導・介助等一人一人の口腔状態に応じたケアを行っている。義歯の利用者には、每晚入れ歯洗浄剤を使用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりにあったトイレ誘導を行ない、できるだけトイレでの排泄に向けた支援を行なっている。また、それぞれの利用者に応じた排泄チェック表を利用し、心身の状態と排泄の関連性も考慮している。	排泄表のチェックを行い排泄パターンを把握し、利用者の表情やしぐさからトイレでの排泄を支援している。ポターブルトイレの利用者もいるが、リハビリパンツやパットを使いながら定期的なトイレ誘導で排泄の自立に向けた支援をしている。パット類も利用者の状態に合わせ検討している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日中の活動を促し、生活のリズムを整えるように努めています。一人ひとりその時々状況に合わせ、運動と休養のバランスが取れるように支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には、週3回の入浴介助を行なっているが、希望時や清潔保持の必要性がある場合は、いつでもシャワー欲が行えるようにしている。	入浴は週に3回提供している。利用者の希望を確認し、曜日や時間・湯の温度・好み入浴剤を使用して香りを楽しんでもらったり、ゆず湯を提供している。同性介護での支援もしている。入浴を拒む利用者には順番や職員の交替などを計りながら、声かけを工夫したり、清拭を行うこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	一人一人の状態に応じて、日 中の活動等へ参加して頂き、夜 間ゆっくり休めるように支援し ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	薬の説明書をファイリングし て、使用の目的・副作用を理 解できるように職員間にて連携 を図っている。また、服薬時は 誤訳がないように職員2人で確 認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	生活の中で、一人ひとりにあ った役割を持っていただき、そ の場面ごとになにか楽しみを感 じていただくように支援してい る。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	本人の希望に応じ買い物やド ライブ・天候の良い日は散歩へ 出かけたりしている。月1回の 戸外レクリエーション（外食） へも出かけ心身の活性につな がるように努めている。	事業所の庭は、菜園畑や長椅子 があり、近隣の散歩や日光浴・ 外気浴を楽しむ利用者が多い。 年間計画にそって、行楽地に出 かけたり初詣や花見・外食など に出かけている。外食は毎月介 護車両で楽しんでいる。家族と の外泊や外食なども支援してい る。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ほとんどの方が事業所で管理している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人の希望や必要がある場合は、状況に応じていつでも電話ができるように声かけや援助を行なっている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居間兼食堂は明るくソファもあり利用者が好みの場所でゆったりと居心地よく過ごせるような環境作りに努めている。	ホールは明るくて広く、温度や湿度・換気に配慮している。季節の花や作品が飾っており、畳の間ではお茶を飲んだり昼寝や洗濯物たたみなどゆっくりできる空間がある。利用者は椅子やソファ・それぞれの場所でくつろぎ、快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	食堂のソファなどに思い思いに過ごしていただくように気配りしている。また、花や装飾品などを飾ったりして自由に過ごしていただけるように空間作りにも取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の好みやなじみの物をご家族に用意していただいたり、本人の要望に応じて必要なものを職員が用意して、本人が居心地よく過ごせるように支援している。</p>	<p>居室の入り口は、職員の手づくり名札を掲げている。利用者と家族で話し合い、衣装ケースや寝具・パジャマ・テレビ・仏壇・位牌・家族の写真・ぬいぐるみ・造花等、本人の好みの物や使い慣れたものが持ち込まれている。ハンガーには何時でも外出できるよう洋服がかけられて、利用者が安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>全フロアーバリアフリーであり、廊下や風呂場等動線に合わせた手すり等の工夫がされ、安全に配慮されている。利用者の特性に合わせて戸惑い混乱が生じないように、目印や表札などを手作りし、設置している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない